

Professor Emeritus Seiichi Makino (Princeton University)

牧野成一は 1935 年に東京で生まれ、早稲田大学文学部で英米文学の学士号と修士号をとり、早稲田時代に文体論に興味を持ち始める。日本での文体論の草分け小林英夫先生のお考えに添って、言語学を学ぶために東京大学の言語学科に入り、そこで学士号、修士号を取り、博士課程に入った。しかし、1964 年にフルブライト留学生としてアメリカに渡った。1968 年にチョムスキーの最初の弟子だったイリノイ大学の Robert Lees 教授のもとで言語学を学び、博士号をとり、全く経験のない日本語教育をはじめたのである。その後、1984 年に教授になり、その後 1991 年にイリノイ大学の名誉教授になったあと、プリンストン大学に転任し、2012 年まで日本語・言語学の教授を務め、現在はその名誉教授である。アメリカの日本語教育学会の会長としても活動した。日本の日本語教育学会からは学会賞をうけ、2014 年には日本政府から瑞宝中綬章を受章した。プリンストン時代にはヨーロッパ（特にフランス）での日本語教育関係の学会で毎年のように基調講演をした。

Seiichi Makino was born in Tokyo in 1935. He completed a BA and an MA in English Literature at Waseda University, where he became interested in the field of Stylistics. Professor Hideo Kobayashi recommended him to start a program of linguistics at the University of Tokyo and, following his advice, Seiichi Makino ended up completing a BA, an MA and started a PhD in linguistics at this University. However, he ended up pursuing his PhD in the United States under the supervision of Robert Lees, Noam Chomsky's first PhD student, and he earned his title in 1968. It was at the University of Illinois that he started teaching Japanese! After he left University of Illinois for Princeton University, he kept teaching Japanese and Linguistics until 2012.

{主要出版物}

- 『ことばと空間』(1978) 東海大学出版会
- 『くりかえしの文法』(1980) 大修館。本語教育
- *A Dictionary of Basic Japanese Grammar* (1986) 筒井通雄と共著。ジャパントイムズ
- *NAKAMA: Communication, Context, Culture Volume 1* (1989) 畑佐由紀子・一味と共著。
- *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar* (1995) 筒井通雄と共著。ジャパントイムズ
- 『ウチとソトの言語文化学』(1996) アルク。
- *NAKAMA: Communication, Context, Culture Volume 2* (2000) 畑佐由紀子・一味と共著
- *A Bilingual Dictionary of English and Japanese Metaphors* (日英共通メタファー辞典) (1998) 牧野成一、岡まゆみ共著, Kuroshio Shuppan
- *A Dictionary of Advanced Japanese Grammar* (1995) 筒井通雄と共著。ジャパントイムズ
- 『日本語を翻訳するということ----失われるもの、残るもの』 (2018) 中央公論新社。